

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第6部門第1区分
【発行日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【公表番号】特表2004-528562(P2004-528562A)
【公表日】平成16年9月16日(2004.9.16)
【年通号数】公開・登録公報2004-036
【出願番号】特願2002-584019(P2002-584019)
【国際特許分類第7版】

G 0 1 W 1/00

【F I】

G 0 1 W 1/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成17年4月15日(2005.4.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

周囲の媒質中に放出されかくしてプルームを作り出す物質の量を推定する方法において

、

多数の場所のうちの各々で、かつ多数の時刻に前記物質の濃度測定を多数回行う段階と

、

前記場所の各々における前記多数の濃度測定および前記測定時刻の関数として、放出された前記物質の放出レートを推定する段階と、

からなる方法。

【請求項2】

前記の推定をする段階は、前記物質が中に放出される周囲媒質の大気条件を測定するような少なくとも1つの気象センサを提供することによって、該大気条件を考慮する段階を含む請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記の大気条件を考慮する段階は、広域ネットワークから気象データをダウンロードする段階、または政府ダイアルアップ気象サービスから気象データをダウンロードする段階、または気象専門家により気象を推定する段階を含む請求項2に記載の方法。

【請求項4】

前記の濃度測定を行う段階は、前記物質の濃度を測定するような少なくとも1つのセンサを提供する段階および、前記少なくとも1つのセンサが前記プルームと接触することになると予測される場所に前記少なくとも1つのセンサを位置決めする段階を含み、かつ前記少なくとも1つのセンサが定置型センサおよび携帯型センサの中から選択されたセンサである請求項1に記載の方法。

【請求項5】

前記の少なくとも1つのセンサのうちの特定の1つのセンサを用いた特定の測定が有効な測定であることを決定する段階と、前記少なくとも1つのセンサのうちの前記特定の1つのセンサについての前記有効な測定に先行する濃度測定値を得るべく時間的に遡って前記特定の測定値を予想する段階とを含む請求項4に記載の方法。

【請求項6】

前記の推定する段階は、時間および濃度測定値の予測されたプロファイルを提供する段

階と、前記濃度測定値を前記の予測されたプロフィールと比較する段階とを含み、これには、この比較する段階に応答して前記の予測されたプロフィールを修正する段階および前記濃度測定値が予測されたプロフィールに収束したことを決定する段階を含む請求項1に記載の方法。

【請求項7】

周囲の媒質中に放出されかくしてプルームを作り出す物質の量を推定する方法において、
多数の場所のうちの各々で、かつ多数の時刻に前記物質の濃度測定を多数回行う段階と、

前記場所の各々における前記多数の濃度測定および前記測定時刻の関数として、放出された前記物質の量を推定する段階と、

からなり、

前記の推定する段階は、前記プルームの移動時間についての前記の測定を調整する段階を含む方法。

【請求項8】

多数の異なる場所の各々で多数回の測定を行う段階と、前記場所の各々における前記多数の濃度測定値および測定時刻の関数として、放出された前記物質の量を推定する段階とを含む請求項7に記載の方法。

【請求項9】

放出により作り出されたプルームから、放出された物質の量を推定するための物質放出レート推定システムにおいて、

前記プルームに位置付けられて前記放出された物質の濃度を測定する少なくとも1つのセンサと、

前記物質が中に放出される周囲媒質の大気条件を入力するような大気条件入力部と、

アルゴリズムでプログラミングされ、多数の時刻に前記少なくとも1つのセンサからの多数の濃度測定値を受信し、前記大気条件入力部から大気条件を受信するコンピュータベースの分析装置であって、前記アルゴリズムが前記濃度測定値および前記大気条件から、物質放出レートの推定値を生成する分析装置と、
を含んでなるシステム。

【請求項10】

放出された物質の量を推定するためのシステムであってその放出によりプルームが作り出される物質放出推定システムにおいて、

プルームに対して異なる多数の場所に位置付けられて多数の時刻に異なる場所で放出された物質の濃度測定を多数回行うような複数のセンサと、

アルゴリズムでプログラミングされ、前記複数のセンサからの濃度測定値を受信するコンピュータベースの分析装置であって、前記アルゴリズムが前記濃度測定値から、放出された前記物質の放出レートの推定値を生成する分析装置と、
を含んでなるシステム。

【請求項11】

前記推定値が、前記プルームの移動時間について調整される請求項9に記載のシステム。

【請求項12】

放出された物質の量を推定するためのシステムであってその放出によりプルームが作り出される物質放出推定システムであり、

プルームに位置づけられ多数の時刻において放出された物質の濃度測定を多数回行うような少なくとも1つのセンサと、アルゴリズムでプログラミングされ、前記の少なくとも1つのセンサからの濃度測定値を受信するコンピュータベースの分析装置であって、前記アルゴリズムが前記濃度測定値から、放出された前記物質の量の推定値を生成する分析装置と、

を含んでなるシステムであって、

多数回の測定が、異なる多数の場所の各々で行われ、放出された物質の量が、前記場所の各々における前記多数の濃度測定値および前記測定時刻の関数として推定され、

前記推定値が、前記ブルームの移動時刻について調整される、システム。